

庁内関係課協議における当該事業提案への意見等

事業名	意見等
駅前農業公園「ながはま『菜園する?!』パーク」	■意見・課題感 □ 大阪などの都会と違い、長浜では畑ができる土地を確保しやすいことから、注目を集め継続した利用が見込めるように工夫した方がよい。駅前で菜園を設けることは面白いと感じる □ 田村駅東口広場は面積の問題で長期占用は難しいことから、駅周辺であれば田村辻町公園の利用を検討してはどうだろうか ➤ 都市公園は、直接的な収益を得ない形であれば占用可能（マルシェ等のイベントで素材として使い販売することは可能） ➤ 公園の設置目的を遵守した上で公園の「維持管理」まで行うならば ParkPFI も視野に。・・・その場合、主体の選定が課題であり、事業者の目処をつけておいた方がよいと思われる □ 田村駅周辺は農業高校から距離もあり、先生・生徒に協力いただけるか早期に調整した方がよい。単発的に講習や作業をお願いする程度なら大丈夫かもしれない □ 手ぶらで来れるようにしない限り車で来られる人が多くなると予想される。車利用者の方を想定して神田スマート IC 周辺で実施する案も検討してはどうだろうか □ 田村駅の乗降客数増加を意識しすぎて事業が引っ張られていないだろうか。主目的が「田村駅の乗降客数増加」なのか「シビックプライド醸成」なのかはっきりさせた方がよいと思われる ■実施にあたって □ 想定予算では不足すると予想される。また、菜園、貸し農園としてだけでは事業として狙いが見えづらいため、マルシェやびわ湖活用のイベントとパッケージした方がよいと思われる *実施場所を最終的にどうするかにもよる □ 他事業と合わせて一体的な予算として実施した方がよい（マルシェや他イベントなどの運営収益も見込める） □ 粗放的な管理とならないよう、利用者や委託事業者には十分指導することも事業のなかに組み込む方がよい □ サイエンスパーク内企業との事前調整はしておいた方がよい。企業協賛を求めたら応じてくれそうな印象はある。マルシェ出店なども巻き込んでどうか
市場の一般開放イベント	■意見・課題感 □ 場所を提供してもらう卸売市場にとってのメリットが提示できると良いのではないだろうか □ イベントを契機として、市産品の P R や市内農林水産業者の存在が広く認知されるような進め方や仕掛けが期待できる □ イベント運営者が公募で見つかるか課題であり、市場や地域のまちづくり協議会を想定して早期に調整してどうか（予算 100 万円程度でどれだけ手が挙がるか）

庁内関係課協議における当該事業提案への意見等

	□ 市として、市場の今後のあり方について検討しているところであり、市場関係者及び利用者の意見を踏まえて検討するためアンケート調査は不要である ■実施にあたって □ 市場側との調整を早期に行い、同意を得た方がよい
長浜の新しい産業づくりに向けた複数テーマのイベント開催	■意見・課題感 □ 「食・農・健康」をテーマに固定せず自由なアイデアを募集し、モノコトヒトの交流を図ってもいいのではないだろうか □ 1回目のアイデアソンを都会で行う理由が不明確であり、ロジックが課題である。 □ 「南長浜」というマイナーテーマであるため、都会の人たち向けに募集をどうやっで行うのか、具体的な手法を想定していれば教えてほしい □ 新しい産業団地の在り方について、滋賀県が主体となって進めており、各市における団地への提案は以下のとおり（現時点） ➤ 長浜市：「バイオ」「健康医療」 ➤ 米原市：「電子部品・半導体」「新モビリティ」 □ 滋賀県や米原市と足並みを合わせなければならぬため、ここでの新規事業アイデア募集は新たな産業団地に捉われない形で行ってはどうか □ 地産地消の推進やブランド化、市内農林水産物を原材料とした加工品等を取り扱う事業者が多く参入されることで、本市農業の更なる発展や農業従事者の所得向上等につながるイベント実施が期待できる ■実施にあたって □ 宿泊先としての空き家活用には時間とコストを要するため、来年度すぐに実現することは現実的ではない。また、行政として民営圧迫になってもいけないため基本的には市内宿泊施設を利用いただく方向で検討してほしい □ 実証実験について、来年度行うには予算規模が足りないことが予想される □ 実施においては行政的な支出のルールがかなり支障になってしまうため、どのように行うか工夫も必要 * 年度を跨ぐ債務負担のハードルが高いこと * 募集して採用される事業のコストが蓋を開けるまで不明であり実質予算化できないこと→補正予算として対応することは難しい（市として補正を組んで即対応する必要のある事業であることを定量的に立証できるかどうか） □ 実証施設の整備については、主体となってくれる事業者が必要であり、公共性が高い施設に補助金を出すというスキームが望ましい（ガバメントクラウドファンディングで集金という可能性はあるものの長浜市が主体となって実証拠点の用途で公共施設を建てることは不可能に近い。）

庁内関係課協議における当該事業提案への意見等

	□ 新たな産業団地以外で開発行為を行う場合は、重層的に土地利用規制がかかっており、検討の際は早期に農業振興課と協議が必要
さいかち浜 「未来生活 実験場」マ ルシェ	■意見・課題感 □ 「未来生活実験場」というテーマは 2050 年の南長浜を考える上で実証的に行っていくべきと感じる。一方で、来年度事業のなかで全てを意識して詰め込む必要はないと感じる □ さいかち浜を舞台にすることのロジックを明確にできるか課題 ➢ マルシェの要素の中に「琵琶湖」が必要なのだろうか ➢ 琵琶湖でやる必要がないのであれば、電気水道などのインフラを意識すると田村駅東口広場で実施してもいいのではと感じる □ シーズン設定してはどうか→湖岸利用といえば夏のイメージがセオリーだが、冬場の透き通った空気の琵琶湖を背景に焚火などを囲めるカフェやマルシェも需要はありそう □ 運搬用ドローンについて、航空法の規制により線路や湖岸道路を跨ぐ飛行について許可基準が厳しい（特に線路）ため、湖岸で完結（又は、田村駅東口広場で開催するならば広場で完結）するような形で進めてはどうか ■実施にあたって □ 事業提案のなかでは「環境配慮サーキュラー」「ハイテクノロジー」「Well-being」とあるが、もう少し的を絞った方が予算規模的にも実施しやすいと考える □ 「南長浜地域のまちづくりを推進する会」など、地元団体も巻き込んだ実施が望ましい □ 湖岸緑地の利用については、滋賀県土木交通部都市計画課公園魅力向上推進室及び滋賀県長浜土木事務所管理調整課、県流域政策局への早期相談、及び湖岸緑地の指定管理業者への調整が必要 ➢ 県や指定管理者の許可が得られない場合は別の場所で検討も